

山口で住民協働の 道づくりを協力

NIPPO

NIPPOは、山口県宇部市にある楠クリーン村で11月13日に開かれた「楠・道普請（みちふしん）プロジェクト」にボランティアとして参加した。地域住民や学生らが本格的なコンクリート舗装の道づくりに挑戦し、同社が施工指導した。健康で持続可能な暮らしの実現に向け、日本大学工学部ロハス工学センター

地域住民らが道路整備に挑戦
(NIPPO提供)



(福島県郡山市、岩城一郎センター長)と楠クリーン

村を運営するNPO法人の学生耕作隊が行う共同研究に賛同し協力した。

プロジェクトには地域住民や関係者の子供たち、日本大学や山口県内の大学生ら約30人が参加。身近に調達できる道具や材料を使い、延長約70メートルのコンクリート舗装道路を整備した。活動の様子を動画で撮影。日大口ハス工学センターの監修で「道づくりアプリ」を制作し、住民協働の道づくりなどに活用してもらおう。

NIPPO 道づくりプロジェクトに協力

NIPPOは、山口県宇部市の楠

真。

クリーン村で行われた「楠・道普請（みちふしん）プロジェクト」にボランティアとして協力した。自立した地域づくりに向けて、地域住民や関係者の子ども、大学生の約30人の若者が、専門家と本格的なコンクリート舗装道路づくりに挑戦した。写真



日本大学工学部ロハス工学センターとNPO法人学生耕作隊（楠クリーン村）は、共同研究契約をことし6月に結び、健康で持続可能な暮らしを実現するための研究と実践を行っている。NIPPOはこれに賛同し、ボランティアで施工指導を行った。

道づくりでは、道具や材料は身近にあるものを使用し、コンクリート舗装道路約70坪を整備した。

住民協働の道づくりは、過疎化の進む地方や東南アジアの国々で課題となっている。道路整備の様子は動画撮影しており、同センターの監修の下、どこでも誰でも安心安全に道路を整備できる「道づくりアプリ」を制作し、活用してもらおうことを計画している。